

# 管内のいちおしスポット 安達太良山

■ 福島森林管理署 <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/hukusima/index.html>  
〒960-8055 福島県福島市野田町 7-10-4  
TEL:024(535)0121(代表) FAX:024(535)6514



「樹下の二人」の歌碑

「あれが阿多多羅山 あの光るのが阿武隈川。ここはあなたの生まれたふるさと あの小さな白壁の点点があなたの家の酒庫」(樹下の二人)「阿多多羅山の山の上に 毎日出ている青い空が 智恵子のほんとの空だといふ」(あどけない話)

詩人・彫刻家として有名な高村光太郎の詩集「智恵子抄」で詠われている安達太良山は、智恵子のふるさととして知られており、また、「樹下の二人」の詩で一躍有名になりました。光太郎が「樹下の二人」を作った場所(二本松市)には、光太郎自筆で刻まれた歌碑があります。きっとこの詩を読まれたら安達太良山を見たくならないと思います。



「樹下の二人」を作った場所から安達太良山を望む

この安達太良山は、二本松市の西に位置し、東北に9°、南北に14°にわたる連峰で、山頂部は北から鬼面山、箕輪山、鉄山、船明神山、安達太良山、和尚山が南北に連なっています。主峰の安達太良山(1,700)は、頂上の岩石が乳頭のように盛り上がっているため「乳頭山」とも呼ばれ、この頂上からは、間近の鉄山をはじめとして、安達太良連峰、磐梯山や吾妻、飯豊連峰など360度の大パノラマが楽しめます。



沼の平火口

また、山頂部の西側には沼の平火口(直径1.2、深さ150)があります。明治33年(1900年)の大爆発によってできた噴火口で、荒々しい山肌がそそり立ち、月世界を思わせる不気味な様相を呈しており、現在でも有毒な火山ガスの噴出が続いているため、この付近一帯は立ち入り禁止となっています。

安達太良山には登山コースが数多く、すべての登山口に温泉があり、下山後の疲れた体をゆったり休めることができます。

最も代表的なコースは、奥岳登山口からのコースで、ゴンドラを利用できることから圧倒的に多くの登山者が訪れます。薬師岳(1,350)までゴンドラが運んでくれ、そこから標高差350を1時間30分位で山頂に着くことができます。また、登山口付近には、特に優れた景観の溪谷が1にわたってあたらは溪谷自然遊歩道として整備されており、1時間程度で一巡できる手軽なコースとして、自然の溪谷美を存分に堪能できるようになっています。

塩沢登山口からのコースは、湯川溪谷を登っていく登山道で、途中、大小の滝、鎖場や溪谷を渡る地点があり、橋が流されているときなどは水に浸かって渡らなければならないときがあるなど、注意が必要な場所が多くありますが、登山者も少なく楽しめるコースでお勧めです。

四季を通して楽しめる安達太良山ですが、初夏にはハクサンシャクナゲが咲き乱れ、秋には素晴らしい紅葉を見ることができ、また、美しい溪谷は心を和ませてくれます。そんな、安達太良山へ是非一度お出かけになってみてはいかがでしょうか。

■ ■ 編 発  
行 行  
集 所  
所  
TEL (027) 210-1158  
FAX (027) 210-1158  
総 関  
務 東  
課 森  
林  
管  
理  
局

(福島森林管理署 広報広聴連絡官 武藤 敏雄)